

埼臨技だより



発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7
TEL 048 (824) 4077 FAX 048 (824) 4095 URL:<http://www.sairingi.com/>
携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter : @sairingi



年頭挨拶

公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会
会長 津田 聡一郎

あけましておめでとうございます。

公益法人となって二回目の新年を迎えました。会員、賛助会員の皆様には、いかがお過ごしでしょうか？

昨年はいろいろな事件事故、自然災害等、ニュースの素材に事欠かない一年だったように思います。とはいえ、この埼臨技だよりの発行が15日付であり、会員の皆様がこれをお手元にしてお読みになるのは1月後半になるものと思います。もうこの時期、昨年一年を振り返るよりも新春から先を見たいと思います。

とは言いましても、まずは御礼を申し上げなくてはなりません。昨年12月6日に開催されました県学会は総参加者数が1300余名という大いなる数字を達成いたしました。関係者の創意工夫と努力、多くの会員の皆様に参加して頂き、支えて頂いた賜物と感謝に耐えません。本当にありがとうございました。

この一、二年で目新しいことと言えば（日臨技からの委託事業ではあるのですが）、**検査と健康展（11月）、検査の説明・相談講習会（1月）**があります。これらは今後、「臨床検査技師」という職業が、もっと一般市民の方々に認知、認識されるように、医療の中で検査のプロとしての位置付けを確実にするように、をコンセプトとしています。検査技師の今後の生き残り策の一つと言えます。

もうひとつの日臨技事業である**検体採取講習会**を皆さんは修了されましたでしょうか？これは「採血」が可能になったのに続いて、検査に使う材料は検査技師の手でというコンセプトであります。あと5年するとこの新カリキュラムを学生時代に修了した新しい「臨床検査技師免許」を持った新人が医療界に出て来ます。従来の方の免許の方は、講習会の修了を経なければ、同等の業務範囲になりません。実際にその業務に就くかどうかは分かりませんが、同じ範囲の免許範囲を目指しましょう。厚労省も免許範囲は一種類であることを好ましいと考えています。

この講習会の開催場所は、東京と地方厚生局所在地という条件があり、受講される皆さんにはご不便をお掛けしています。東京での開催部分はこれまで都臨技から実務委員を出して来ました

平成28年6月3日(金)に開催することで承認された。

- 2) 日臨技より平成28・29年度医療関連サービス振興会衛生検査所調査指導員の推薦依頼について

神山副会長を推薦することで承認された。

2 総務部

- 1) 埼臨技・臨床検査技師養成校連絡会議の開催について

平成28年度より開催することで承認された。

- 2) 第45回埼玉県医学検査学会予算案について承認された。

3 事業部

- 1) 平成28年度賀詞交歓会・各賞受賞記念祝賀会要項について

承認された。

4 学術部

- 1) 査読委員の増員について承認された。

5 精度保証部

- 1) 特になし

6 会計部

- 1) 埼臨技事務員の冬季賞与について承認された。

7 精度管理委員会

- 1) 特になし

IV. 議題

- 1 平成27年度臨時会員総会議案書について
矢作事務局長より平成27年度臨時会員総会議案書について発言があった。これを受け理事会審議の結果、出席理事全会一致で承認した。

- 2 平成28年度予算について
松岡会計部長より、平成28年度予算案の提示があった。これを受け理事会審議の結果、出席理事全会一致で承認した。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

あ と が き

2016年が始まりました。本年もよろしくお願いいたします。

昨年12月6日(日)第44回埼玉県医学検査学会が盛会裏に終了しました。頼りない学会担当理事として1年以上に亘り実行委員のみなさんと作り上げてきた学会ですので(私は特に何もしてありませんが・・・)感慨深いものがありました。当たり前の話ですが毎年何もないうところからの出発です。少しずつ形ができてゆき、それに比例するように実行委員の表情が頼もしさを増していく。そして抜群の笑顔で終わる。一年以上大変だったと思いますが頑張ってきてよかったですね。

ご参加いただき

